

高橋地区では こんなふうにすすめました

多賀城市高橋にある4地区は
町内会の枠を超えて連携するモデル地区として、
平成26年度より新たな地域づくりをすすめています。

step 1 1 たくさんの人に呼びかける

町内会役員はもちろんですが、高校生、引越してきたばかりの人、子ども、お店をやっている人といったさまざまな方が参加しました。住民だけでなく、その地区の会社や学校に通う人へも呼びかけてみましょう。

step 2 2 多様な立場で地域のことを考える

毎月1回懇談会を実施し、地域の魅力や課題をいろいろな立場の視点で考えました。みんなが考えた結果、平成27年度のテーマは「子どものために必要なこと」となりました。

step 3 3 話し合いを重ねてアイデアを出す

5～6人のグループに分かれ、各々が意見を付箋紙に書いて発表していくことで、参加した誰もが発言できるように工夫しました。今回は多世代交流を目指し、「昔遊びの会」を実施することになりました。

step 4 4 地域の力を集めて実践する

何をするか決まったらいよいよ実践。「昔遊びの会」では、けん玉や竹馬といった昔遊びの名人たちが活躍しました。また、デザインの仕事をしている人がチラシをつくったりと、趣味や仕事の経験が地域で活かされました。

step 5 5 ふりかえりをして次に活かす

事業が終わったらふりかえることも大切です。最初に話し合った地域の魅力や課題を思い出し、目的を果たせたかどうか確認しましょう。これが次の地域の取り組みに活かされるのです。

たがさぼは地域づくりを
応援します！

いろいろな人の意見を引き出す話し合いのコツ、話し合いで出たアイデアのまとめ方、連携して活動できそうな団体の情報、他地区で行われている地域づくりの事例など、みなさんの「こんな地域にしたい」という想いをかたちにするためにスタッフが相談に応じます。

- ◆その他
- ・町内会運営に役立つノウハウを学べる講座
- ・チラシや会報づくりに使える印刷機 など

交通案内



JR仙石線 多賀城駅北口より徒歩12分／駐車場有。台数に限りがあります。

多賀城市市民活動サポートセンター（たがさぼ）

〒985-0873 多賀城市中央二丁目 25-3

電話：022-368-7745

FAX：022-309-3706

E-mail：tagajo@sapo-sen.jp

URL：http://www.tagasapo.org/

ブログ：http://blog.canpan.info/tagasapo/

Twitter：@tagasapo

開館時間：月～土曜日 9:00～21:30

日曜・祝日 9:00～17:00

休館日：毎週水曜日（水曜日が祝日の場合は、その翌日）

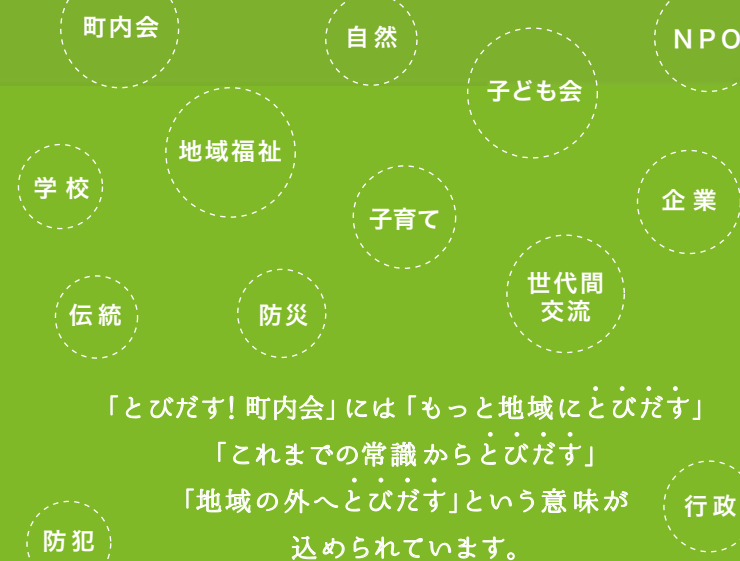
年末年始（12月28日～1月4日）

2016年3月発行
発行：多賀城市
編集：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
デザイン：kico design 協力：多賀城市高橋地区のみなさん

とびだす！
町内会

地域づくり お役立ちガイド

～人材編～



「とびだす！町内会」には「もっと地域にとびだす」

「これまでの常識からとびだす」

「地域の外へとびだす」という意味が

込められています。

これからの地域づくり

少子高齢化が進み人口減少へと向かう日本で、若者が少なくなっても、障がいがあっても、高齢者のみの世帯になっても、安心して暮らし続けるために、地域に暮らす一人一人が知恵や力を出し合い、課題を解決していくことが求められてきています。

そのために、いろいろな立場の人が集まって、地域のことをあれこれ話し合うことが新たな地域づくりの第一歩になります。地域の中で大切にしたいものや守りたいもの（魅力）、解決しなければいけない困りごとや必要なもの（課題）を話し合いの中で明らかにしていきます。

くり返し話し合う中で、大切なこと・必要なことが見えてきたら、魅力をもっと伸ばし、課題を解決するための取り組みを生み出していきます。

人材を発掘しよう

地域の課題というと、「担い手不足」「参加者不足」のような人材不足を思い浮かべる人も多いのではないでしょうか。しかし、自分たちの地域を見つめ直してみると、さまざまな人が暮らしていて、まだ出会っていない人材がいることに気がつくはずです。

誰でも参加しやすく一人一人が楽しいと思えるように、話し合いの場のづくり方や取り組み方を工夫します。話し合いを重ね、取り組みを生み出していく過程は、新たな人材の発掘や育成にもつながります。

一人一人の特技や知恵を引き出し、つなぎ合わせることで地域の課題解決に立ち向かう大きな力になるのです。



あなたの
まわりにも
いるはず!

みつけよう地域の**人財**

Community House

高橋地区では、話し合いを経て、子どもから高齢者まで
顔見知りになるきっかけづくりとして「昔遊びの会」を実施しました。
そこには、**地域の方のアイデア、特技、経験、想い**が詰まっています。

今回は高橋地区をモデルにしていますが、みなさんの地域にも**素敵**な方がたくさんいらっしゃると思います。
そんな**地域の力**となってくれる**人材**を**みつけるヒント**として、このリーフレットをご活用ください。



一緒に取り組むと私たちの経験を
若い人たちに伝えられるわね。

先輩お母さんからいろいろ
教えてもらえて勉強になります!

紙芝居サークルとして
大学で活動中。地域にも
出て行きたいです!



はじまり
はじまり~

・ヒント

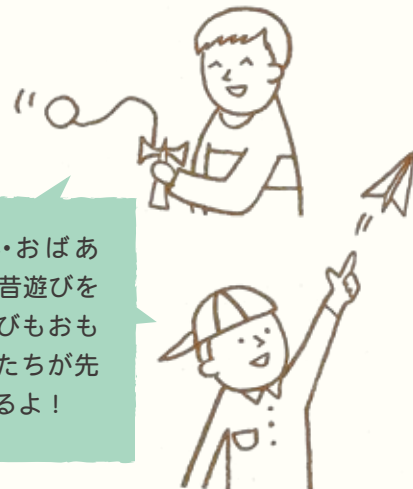
- ・必要なときには
他地区の名人の力を
地域につなごう。
- ・学校や地域の行事に
登場する人たちも
要チェック。



普段から小学校で地域の子どもたちに
昔遊びを教えています。スカウトされ
て隣の地区から助っ人に来ました。学校
では昔遊びを教えらる先生が少なく
なってきたので、自分がそうした役割を
担えればと思います。



地域のおじいちゃん・おばあ
ちゃんたちがいろんな昔遊びを
教えてくれた。今の遊びもおも
しろいから、今度は僕たちが先
生になって教えてあげるよ!



・ヒント

- ・本職で培ったスキルを
地域の活動でも
発揮してもらおう。
- ・何気ない会話から、
その人の特技やスキル
を発見しよう。

チラシや名刺デザインの仕事をしています。
これまで地域の人に仕事の話を話す機会
がなかったと思いますが、たまたま懇談会で
話題に。「目を引くチラシにしたいね!」とい
う声があがっていたこともあり、チラシづくり
を担当することになりました。



ゴミステーションに貼ってあるチラシと
回覧板を見ておもしろそうだと思いました。



地域で何かしたいと思っていた時に、区長の
ブログで誰でも参加できる懇談会が行われ
ていることを知りました。みんなが自分の意
見を言い、それがしっかり反映される場だっ
たので、毎回出ようと思いました。



・ヒント

- ・若い人には
インターネットで発信!
見てる人も結構多い。
- ・誰もが参加でき、
意見を言える場を
地域につくろう。



地元でお店を出している者として、
お店の強みを活かして協力。

P T Aの役員をしていて、声をかけられ懇談会
に参加することに。「昔遊びの会」では実行委員
長を務めました。もともと子育て世代の知り合
いは多かったけれど、同じ町内でも知らなかつ
た人と出会うことができたり、地域との関わり
もこれまでより深くなったと思います。

・ヒント

- ・兄貴・姉御的存在が
いれば若い世代を
引っ張ってくれます。
- ・昔からその地域に住んで
いる人の同級生ネット
ワークを活用しよう。



地元で暮らす同級生に声をかけられて、
他地域在住だけど来てみました。

公民館を会場に月1回、先生から折り紙の折
り方を習うサークルに所属していることから、
手伝ってと声をかけられました。今回子ども
たちに挑戦してもらったキャラクターの折
り方もサークルで習ったものです。

・ヒント

- ・趣味や特技を地域で
活かしてもらおう。
- ・地域で活動するサークル
は人材の宝庫。
- ・地区の文化祭は特技を
知る絶好の機会に。



ご近所の友達から誘わ
れて当日お手伝いする
ことになりました。

・ヒント

- ・役割分担を
見直してみよう。
短時間や部分的に
なら手伝える方も。

バックアップはまかせとけ!
みんなの力で地域をもっとよくしていこう!

区長たち

